

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131

FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

【討議資料】

# うだがわよしひで

緑豊かな街づくり

市議会ニュース

vol.133(2025年2月)

宇田川好秀



## 川口市コミュニティバスの路線見直しについて

※ここからの記事は、令和7年2月7日に行なわれた都市基盤整備・危機管理対策特別委員会の資料をもとに作成しています。

### 見直しの経緯

川口市コミュニティバス「みんななかまバス」は、平成14年10月から運行を開始し、平成25年12月の旧鳩ヶ谷市循環バス「ミニは〜と」と統合以降、平成28年及び令和2年にルート等の見直しを実施しています。

近年、バス事業者において慢性的な運転手不足が問題となっているところであるが、さらに、令和6年度には運転手の長時間労働を防ぐための告示改正が行われたことにより、人員不足が一層深刻化している状況です。

本市においても、運転手不足を理由とした路線バスの廃止や減便を伴うダイヤ改正が複数回行われており、対策を行わない場合はバスネットワークの維持自体が困難となる恐れがあります。現に周辺自治体では、バス事業者から「運転手不足により運行を担えない」との申し出によるコミュニティバスの廃止が相次いでおり、本市としても強い危機感を持っています。

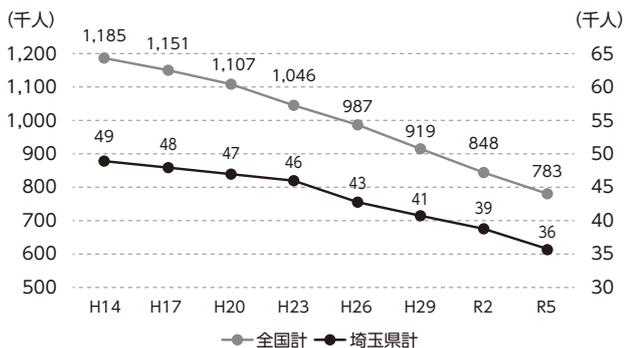
また、現在のルートは、令和2年1月に見直しを行い運行開始したのですが、見直しから5年以上が経過し、市民や議会からルートの見直しや運行間隔の短縮等に関して、多くの要望が寄せられています。

### バス運転手の現状

バス運転手になるために必要な大型二種免許の保有者が減少し続けており、慢性的な人手不足と運転手の高齢化が事業者の抱える大きな課題となっています。

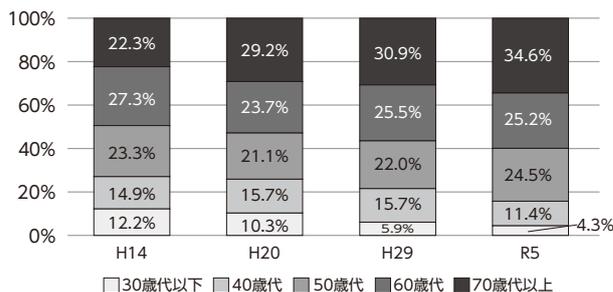
日本バス協会の調べによると、令和5年度は全国で約1万人不足し、令和12年度には約3万6,000人不足する見通しとのことであり、本市を運行するバス事業者も同様の傾向にあります。

大型二種免許保有者数の推移



警察庁運転免許統計より作成

大型二種免許保有者数の年代別割合



警察庁運転免許統計より作成

## 周辺自治体におけるコミュニティバスの廃止状況

### ①廃止済み

- 足立区(国際興業、日立自動車交通、新日本観光自動車)
- 朝霞市(国際興業)【ワゴン型輸送に切り替え】

### ②廃止予定

- 足立区(東武バスセントラル)

### ③廃止協議申し入れ

- 鶴ヶ島市、坂戸市、富士見市、新座市、朝霞市、和光市(東武バスウェスト)

## コミュニティバスの現状と課題

### ①市民・議会からの要望や事業者ヒヤリング等を踏まえた課題の整理

- 1路線あたりのルートが長大化しており、目的地までの速達性が低い。
- 運行間隔が概ね2時間間隔のため、利便性が低い。
- コミュニティバス同士の乗継ぎを考慮していないため、待ち時間が長い。
- 路線バスとの競合区間が複数あり、運賃が路線バスより低額であることから、路線バスの撤退を招く要因となっている。
- 運行評価体制が未整備である。

### ②アンケート調査

市民の公共交通の利用状況を把握するため、アンケート調査を実施しました。

#### (ア)実施期間

令和6年7月18日から8月9日まで

#### (イ)回答方法

Web(アンケートフォーム)または郵送

#### (ウ)対象者

住民基本台帳から無作為抽出した、15歳以上の市民5,000人

#### (エ)回答者数

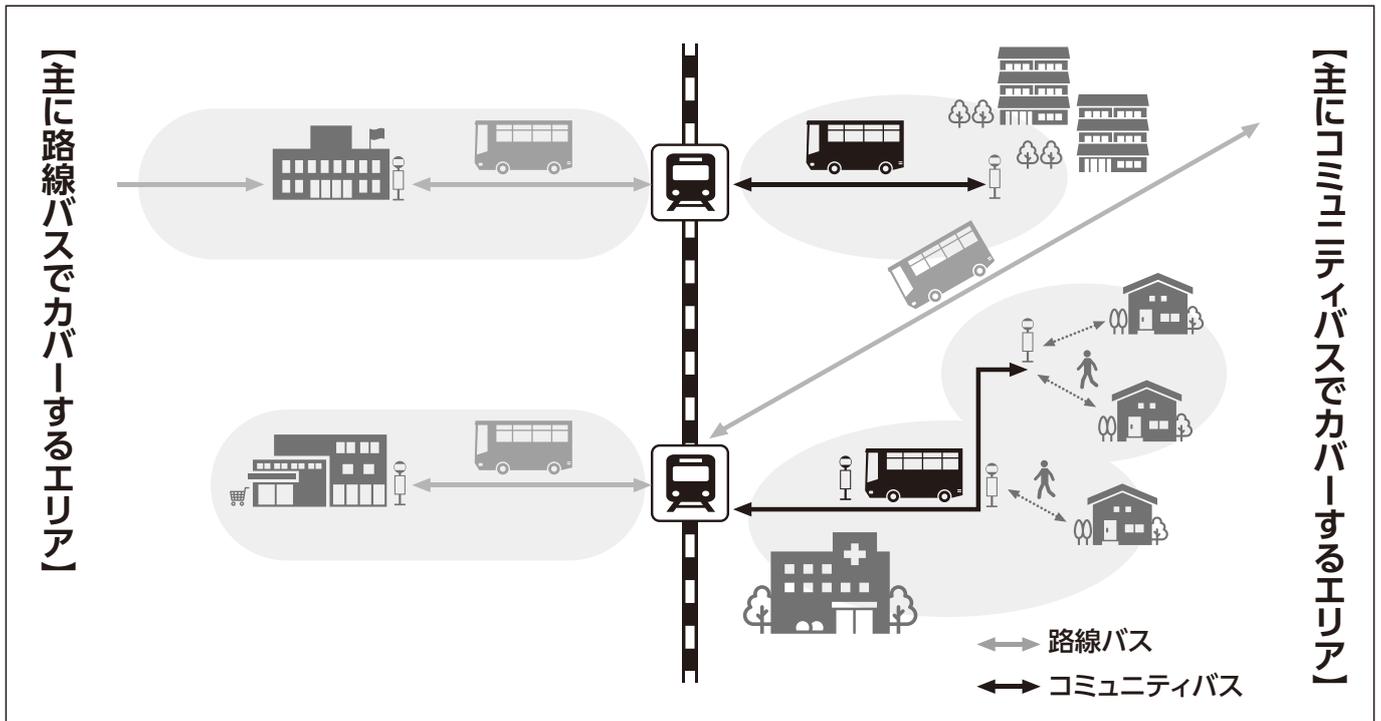
1,584人(回答率:31.7%)

## コミュニティバス再編の考え方

### ●路線バスとコミュニティバスの一体的運用

#### ①バスネットワークの役割分担の徹底

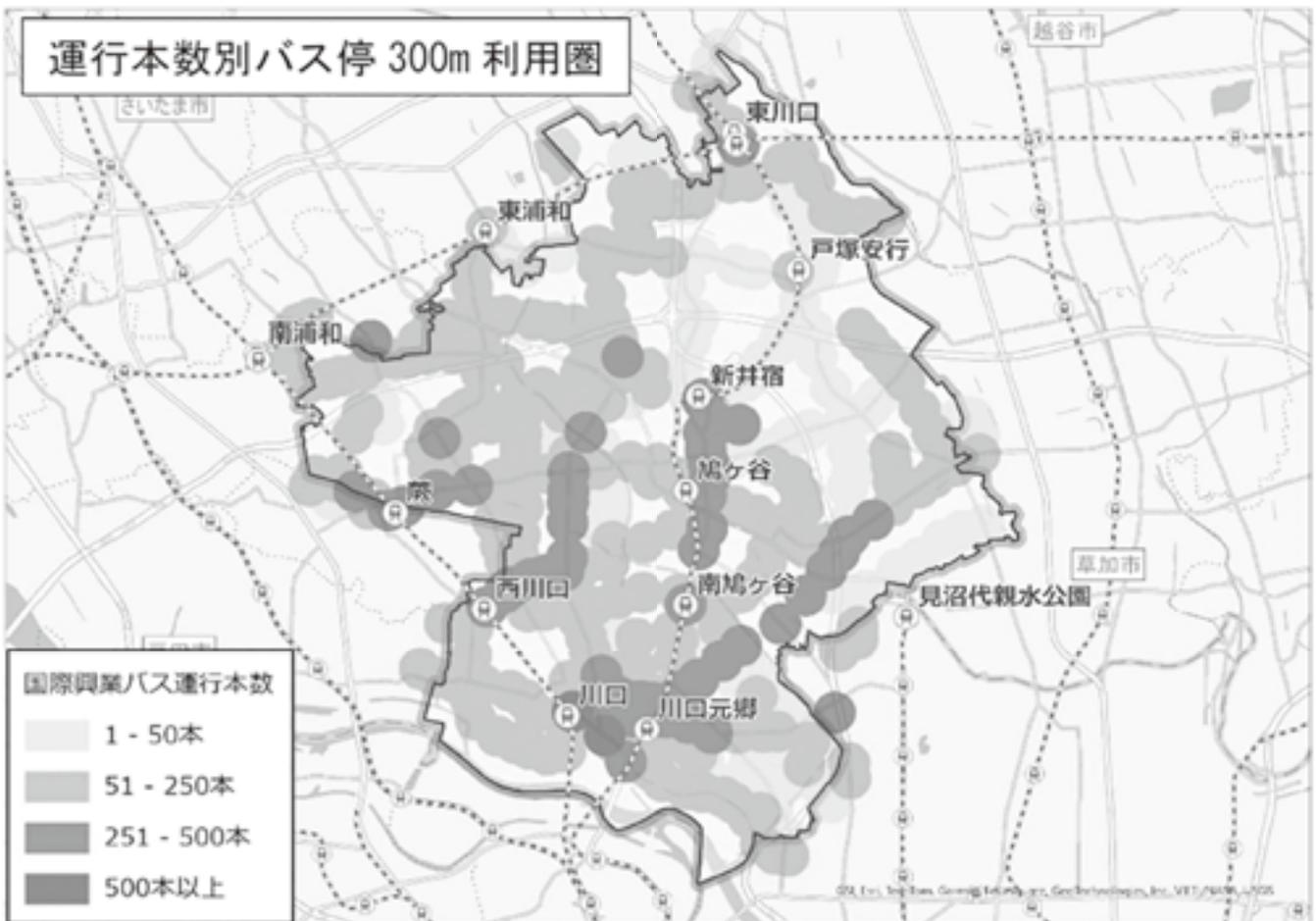
路線バスとコミュニティバスの重複による非効率を排除し、運転手不足の状況下においても市域全体のバスネットワークを維持していくため、これまでのコミュニティバスで市域全体をカバーするという方針を転換し、主に路線バスでカバーするエリアと主にコミュニティバスでカバーするエリアを設定し、路線バスとコミュニティバスを一体的に運用することを基本とします。



②コミュニティバスでカバーするエリア

現在の路線バスネットワークを踏まえ、コミュニティバスは、路線バスの運行が困難な地域や運行本数が少ない地域へ集中させる。

【市内路線バスネットワーク】



※上記の図からも分かるとおり、安行地区では圧倒的に利用ができない状況

### ③運賃

現状のコミュニティバスの運賃制度では、路線バスでカバーするエリアとコミュニティバスでカバーするエリアとの間での地域間運賃格差や、路線バスとの重複区間における路線バスとの運賃競合が発生することから、これらの事態を防ぐため、路線バスと一体的な運賃制度とすることを検討します。

### ④市民の利用実態に即した運行サービスの検討

#### (ア) 鉄道駅の交通結節機能の強化

鉄道や路線バスへの乗継ぎを考慮するため、運行拠点を鉄道駅とする。

#### (イ) 市域全体におけるバスの利便性向上

コミュニティバスについて、長大化している運行経路や運行間隔の短縮等を検討する。また、路線バスでカバーすることとなるエリアについても、コミュニティバスが運行されなくなることを踏まえ、路線バスの一部経路変更等をバス事業者に要請する。

### ⑤将来的な持続性の確保

新路線での運行開始後も継続して利用状況等を評価し、必要に応じた見直しを行うための体制を構築します。

## 今後の予定

令和7年度 交通体系将来構想推進会議にて運行ルート等の詳細を検討(2~3回)

令和8年度 新路線での運行開始(秋頃を予定)

川口市全体の課題として、取り組む必要性があります。

これから超高齢社会に向けた大きな課題であり、

安行地域にお住まいの皆様方の死活問題です。

21年間、行政に訴えて参りましたが、公共交通の

利便性が高い地区にお住まいの方々には、

少し我慢を頂き、交通不便地に特化した

コミュニティバスの運行ルートを設定すべきです。



編集発行

川口市議会議員

**宇田川 好秀**

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

市政情報  
発信



<http://gakkainavi.com/udagawa/report.html>

宇田川レポート更新中!!